

車載用リチウムイオン二次電池向け塗布型セパレーターの塗布加工能力を增強

耐久性・耐熱性を高め、拡大する電気自動車向け需要に対応

日立マクセル株式会社(取締役社長:千歳 喜弘/以下、マクセル)は、このたび、宇部興産株式会社でのセパレーター生産能力增強計画を受け、車載用リチウムイオン二次電池(以下、LiB)に使用される塗布型セパレーターの塗布加工能力增強を図ります。

環境意識の高まりや規制強化を背景に、環境負荷を低減する電気自動車(EV)の普及が各国で始まっています。それに伴い、車載用 LiB の需要拡大が見込まれますが、「長寿命」「高出力」「高エネルギー密度」といった特長に加え、車載用途には特に高い安全性と信頼性が求められます。

マクセルでのセパレーターへの塗布加工は、長年磁気テープ製造で培ってきた分散塗布技術を活かしたもので、セパレーター上に無機微粒子によるコーティング層を形成することで、高温時の収縮率を抑えることが可能になりました。これにより、電池内部での短絡を防ぐことができ、LiB の安全性の大幅な向上を実現、車載用途に求められる耐久性や高温耐熱性などの要件に対応しました。

マクセルは、宇部興産株式会社との合弁会社である宇部マクセル株式会社を通じて、内外の LiB メーカーに塗布型セパレーターを供給しています。今回、塗布型セパレーターへの塗布加工能力を增強することで、宇部マクセル株式会社とともに拡大する需要に応えていきます。

また、マクセルでは次世代電池に対応すべく、新たな塗布材料の開発および、その改質や分散塗布による使いこなし技術を深化させ、ユニークかつ特徴のあるセパレーター開発を進めています。今後も、市場ニーズに応える技術開発に取り組み、持続可能な社会の実現をめざします。

■宇部興産株式会社の概要

代表:代表取締役社長 山本 謙

設立:1942年3月

事業内容:化学、医薬、建設資材、機械・金属成形、エネルギー・環境に関する事業

■宇部マクセル株式会社の概要

代表:代表取締役社長 中井 正樹

設立:2011年2月

事業内容:リチウムイオン電池用塗布型セパレーターの製造・販売

出資比率:宇部興産株式会社 51%、マクセル 49%

以上